
猫とネコの物語

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猫とネコの物語

【Nコード】

N4260F

【作者名】

神童サーガ

【あらすじ】

少年と猫の話。童話のようにしました。

（前書き）

人語を話す猫です。

あるところに、小さい子供がいました。少年の名前は、ネコとい
います。でも、少年は自分の名前が嫌いです。理由は、友達にから
かわれるからです。

いつものように、目に涙を浮かべながら帰るネコ。
でも、いつもと違うことがありました。

それは、塀の上に黒い猫がいました。

ネコは言いました。

「猫ちゃん。何してるの？」

すると猫は、あくびをした後に言いました。

「日向ぼっこです。キミはどうしたんですか？」

猫が喋ったことに驚いたネコでしたが、なぜか変だとは思いませ
んでした。

ネコは、言いたくなかったのに口が自然と開いてました。

「ボクは、自分の名前が嫌いな・・・みんな苛めるんだ」

泣くのを堪えながら言ったネコに、優しく口を上げながら言いました。

「大丈夫。例え、誰がキミを苛めても、ワタシはアナタの味方です」

猫の優しい声に心が癒されていきました。
ネコは、言いました。

「ボクはネコ。キミはこれからどうするの？」

猫は、少年の名前が聞けて嬉しそうです。
猫は、目を細めてニンマリ顔で言いました。

「ワタシは、世界を巡る放浪猫です」

ネコには、猫の言葉が分りませんでした。

「旅猫なんですワタシ。今は、この日本を回ってますが、いつかは世界を周りたいです」

猫の言葉に驚いたネコ。でも、少し寂しいと思いました。

「今までワタシが、どんな冒険をしたかお話ししましょう」

ネコたちは、河川敷に向かいました。

ランドセルをイス代わりに座りました。

猫は、川を懐かしそうに見てから、ネコに目を向けて話しました。

「ヒトは面白いです。ワタシを苛める者、手当てをしてくれる者、ネコくんのような優しいヒトがいます」

猫の言葉に、また驚きました。

猫は、だから、と話を続けました。

「ネコくんは、いつまでも心の優しいヒトでいてください。ワタシは、それだけが望みです」

いつの間にか、すっかり涙が乾いてました。

猫の話は、面白い話から悲しい話がたくさんありました。

悲しい話を辛そうに言ってるのを見ると、ネコの胸が苦しくなりました。

「ボクは、絶対に動物を苛めないよ」

ネコは、服を握り締めて言いました。
でも、猫は首を横に振りました。

「動物だけじゃなく、これから出会うヒトたちに優しさを分け与えてください」

ただ、その言葉を言いました。

猫は、それから何にも話さず川を見てるだけでした。
川に夕日が沈んでいきました。

「さあ。もうお帰り。暗くなってきました」

一番星が、綺麗に光っていました。

ネコは、立ち上がりランドセルの汚れを払って、ランドセルを背負いました。

「ボクは猫ちゃんのおかげで名前が少しだけ好きになったよ」

まだ少し苦手だけど、と小さい声を出しました。

猫は、今まで見た中で一番の笑顔で言いました。

「ワタシは、ネコくんのおかげで、ヒトが更に好きになりました。
ワタシは、いつでもアナタを見守っています。アナタが、ワタシを

忘れても」

猫は、ネコの手をなめながら言いました。

猫は、どこかへ旅立つようです。

そして猫は、ネコを一度も振り返らずに歩いて行きました。

それぞれの幸せの道を歩いて行きます。

大きくなったら、再び出会えることを信じながら・・・。

（後書き）

ほのぼのっぽくしたかったけど浮かばなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4260f/>

猫とネコの物語

2010年10月20日19時43分発行